

北翔大学 2023年度 現職教員研修会

学校・部活動における 重大事件・事故から学ぶ研修会

2023年11月27日(月)18時00分～20時00分

北翔大学・カレッジホールPAL6F



—日本体育大学が「超本気」で取り組み続けている
「命の授業」を、北翔大学で学ぶ—



日本体育大学が2016年から続けている「命の研修会」を、北翔大学で行います。
同研修会では、学校や運動部活動で起きた重大事件・事故の被害者ご遺族らにご登壇頂き、事件・事故の「リアル」をありのままにお話し頂く、非常に画期的なものです。当事者の「語り」を通じて、日本の学校で起きている事故とその問題点について深く知ることで、どうすれば子どもたちの命を守ることができるのかを、本気で考えます。
現職教員の方、スポーツ指導者・教員を目指す学生の皆さん、日本の教育や部活動問題に関心のある方は、積極的にご参加ください。

【ご登壇者】



一般社団法人 ここから未来 代表理事・指導死遺族
大貫 隆志 さん

2000年に中学2年の次男、陵平君が指導を受けた翌日に自宅マンションから飛び降りて死亡。指導を背景とした子どもの自殺を指導死と名付ける。以後、小・中・高校生、教職員などを対象とした、いじめや体罰などの講演活動を行う。編著に『指導死』（高文研）。

全国柔道事故被害者の会代表・名古屋市立向陽高校柔道部事故ご遺族
倉田 久子 さん

2011年、1年生で初心者の倉田総嗣君が柔道部の練習中に何度も頭部を打撲し、急性硬膜下血腫で亡くなった事案。きわめて重大な事故でありながら、学校側は誠意を持って対応した。これは学校事故の対応としては異例のことで、現在まで語り継がれている。



日本体育大学スポーツ文化学部教授・医学博士
南部 さおり さん

スポーツにおける体罰・ハラスメントや児童虐待に関する問題を、医学・法学等の分野横断的なアプローチで研究している。専門分野は法医学・刑事法学・スポーツ危機管理学。著書に『反体罰宣言 日本体育大学が超本気で取り組んだ命の授業』（春陽書店）

参加申し込み 下記URLまたは、右のQRコードからお申し込みください。定員250名
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf8pI7zulv9fSPt_D8x_1YMKXq8XvO6hPUlxILMIBhCGxX9qw/viewform



主催：北翔大学 教職センター Tel.011-387-4082 北海道江別市文京台23番地
協力：北翔大学 生涯スポーツ学部スポーツ教育学科 山本敬三 研究室